




HOUSES
FOR ADULTS OF
THE
HOLY



SHIZUKA KADINA

HOUSES
FOR ADULTS OF
THE
HOLY

SHIMAKO TOUDOU

DIEPPE FACTORY

さきげんよう(笑)アレビーヌです。
はじめましての方ははじめましてです。

まずはお詫びしなければなりません。
FATEの前聖杯戦争本は落ちました(泣)
やろうとしていた巻丁がまだ未完成でできなかったのもありますが、
まあ、言い訳は見苦しいので、諸般の事情で発行に至りませんでした。
お待ちしていた皆様には本当にすみませんでしたm(_ _)m

こちらは順しては、まだえらく先にあってしまいましたが
Cしヴォファイナルにて発行したいなと考えています。
その頃にはファンディスクも出ているかと思いましね。

で、出し物が結局キャンセルになってしまったので、
何を出るか途方に迷っていたところ浮かんできたのは二つ。
出せやっていた秋葉さま露出調教本と今回のワリみてえろ本でした。
まあ、それで散々悩んだ挙句、おそらく出せるチャンスは
これで最後かな～ということでワリみて本になった次第です。

ワリみては2年ほど前に一度ペーパーもとき+コピー本を
出したことがあったのですが、それ以来二冊目…えろ本としては
初めて出る本になります。

既にもう冬コミの参加スペースとはジャンルすら違ってしまう、
なんとも申し訳ないのですが、これなものでも読んでいただければ幸いです。

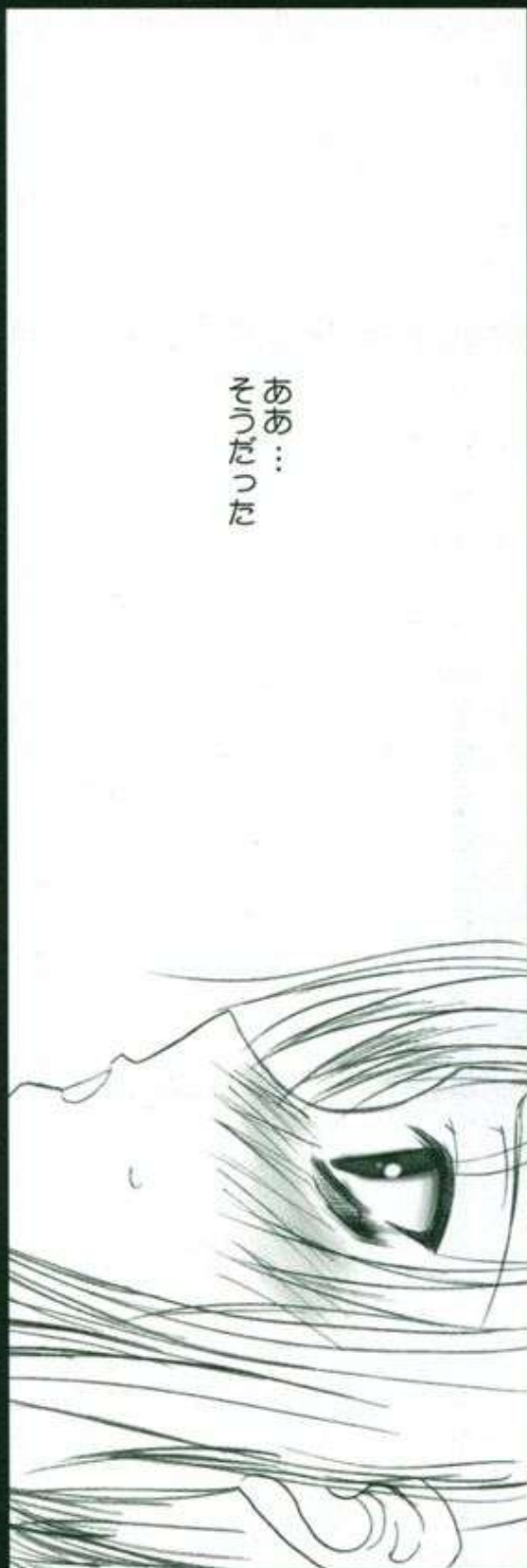
それではまた後ほど～。

※ご注意

この本の中身はそれなりに濃い目のえろまんがですので、
えろくアレンジされた原作キャラに耐性のない方や、原作原理主義な方は
お読みにならないほうが精神衛生上よいかもです。



.....



ああ...
そうだった



こんな...

薔薇の館の
物置...よね



私...いったい
どうして.....

こんな...

昨日は
聖と江利子の
二人と過ごして

あの時はまだ
大丈夫と
思ったのに…



しかも結構
キツくって…

それでも
予定を崩したく
なくて



今日になって
始まっちゃって

放課後に
なつてから

薔薇の館に
一人でお別れを
しに来て





誰かの声…

…

…

…



で…この物置で
貧血…力尽きた
訳…か

やれやれ…
卒業前で
気が緩んで
いるのかしら…



こんな時間に

ほかに人が…?

…

…

…

Scene 1. OVERTURE



志摩子!?

その時
私は既に



声を出す
タイミングも
失っていて…

動けない



蟹名静
だったなんて

しかも

その相手が
聖ではなく



志摩子が…いや
志摩子でも

あんな表情をする
事があるなんて…



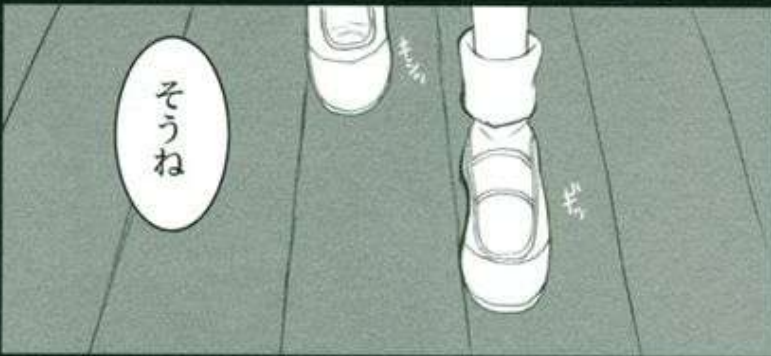
そつ思いたくなる
くらい
目の前の出来事は
非現実的だった…

まだ
ほーっとしている…

やっぱりまだ
夢の続きなのかも
しれない…

SABBATH, BLOODY SABBATH

ALPINE





強いて言えば

私のせい…
かしら？



それに
貴方だって
気づいているん
でしょう？



自分の股間が
今どうなっ
ているのか…

そんな近くで
見は…だめえ



…



聞こえなかった
かしら？

自分で
下ろしましょうと
言ったのよ



えっ？

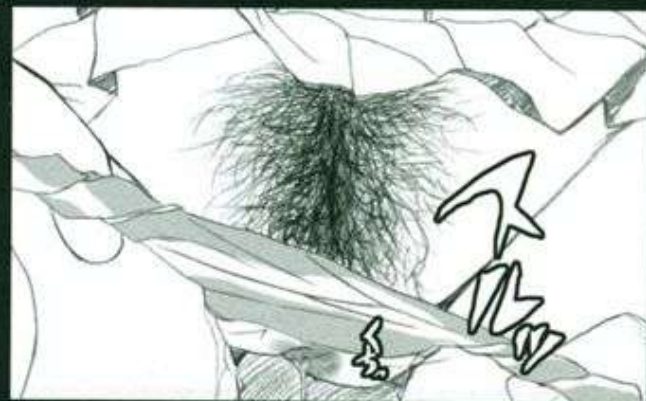
じゃあ

それも下ろし
ましょうか



はい…

SCENE 2. SHIMAKO



待って
志摩子さん

シヨーツ：
下ろすだけに
しましょう

は？

どうして
…ですか？

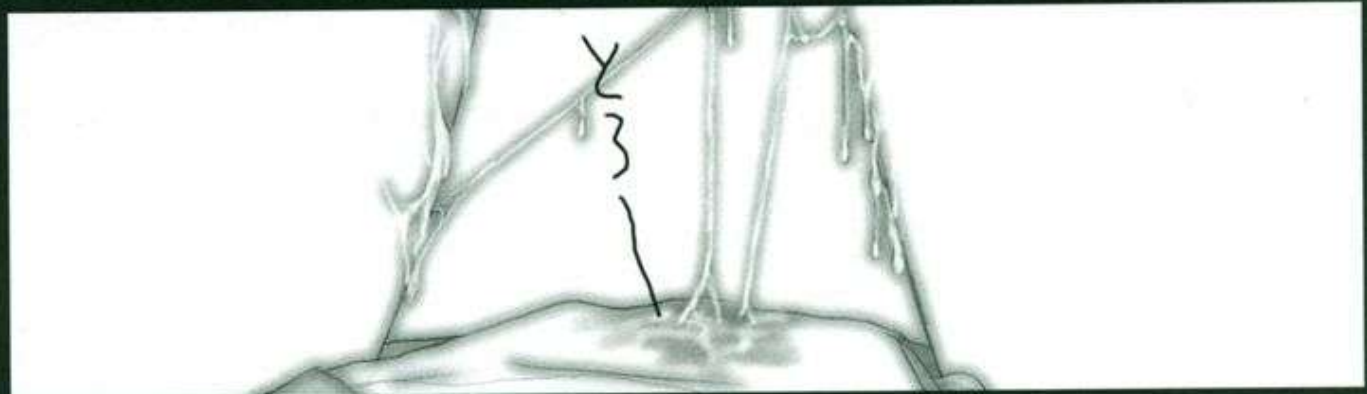


どうしてって…
そうね…



その体液で
濡れたシヨーツは
あなたの恥ずかしさ
そのもの…

それを身に着けた
ままにすることで



Scene 2. SHIMAKO



見かけによらず
毛深いのね



静さま…
恥ずかしい
です…

志摩子さんって



そう…それで
手入れも
していない

そんな
恥ずかしい部分を
人前に晒して



ま…前は…
してました…

でも…かえって
濃くなって
しまつて…
…それで…



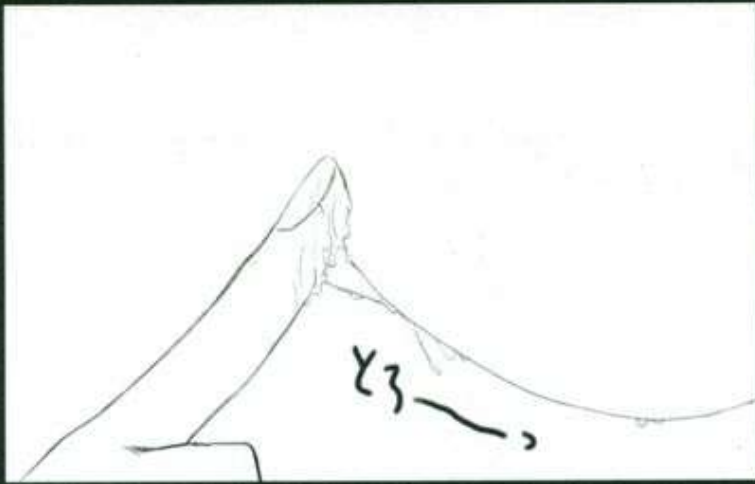
お手入れとかは
しないのかしら？



ますます感じて
来ちゃった訳ね

…それは…あ

そつ



Scene 2. SHIMAKO





それが
貴方なりの
やさしさという
ことも...

だから.....



残念だけど...

あなたに
触れていいのは
白薔薇さまだけ...

そして私は
そんな貴方に
「仕返し」するため
ここにいますのよ

わかっています



お...おねがっ

もう
いじって...くだ



だめよ

それは私の
役目じゃないわ



あなたの
...その舌で

濡らして...
...ください♥

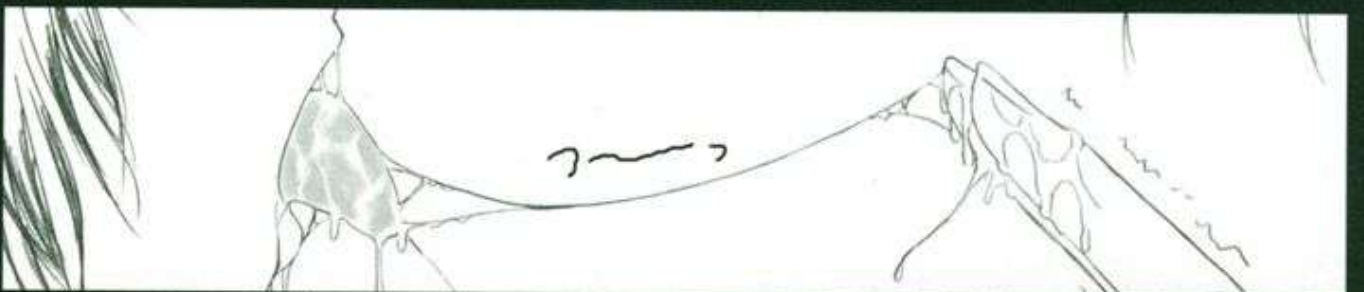


せめて...
恥ずかしい
ことをする
この指を

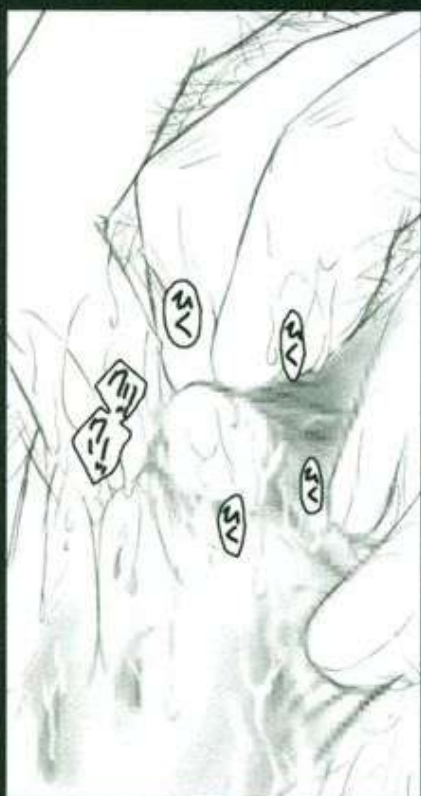
Scene 2. SHIMAKO



Scene 2. SHIMPAKO



Scene 2. SHIMAKO





快感には
素直なのね

でも



ネ：ネットとかで
知りました

おまん：…ことか

ソクソクして
すく感じる
から…です

下卑た言葉を
口走りながら
いじったほうが



おかしい…
ですか

私が言う…のは？



そう
だから
いじりかたも
だんだん大胆に
なってきたのね

はいっ

こうして…
おしり…から
おまんこの裏
こす…ってえ

そっ
それっ…はあ…

普段…はお尻を
いじることが
多いから…つい…
いじっちゃうん
です…う♥

そう言いながら
指は違うところを
まさぐってる
みたいだけど？



もつと貴方を
さらけだしていいの!

シッポッ

アホッ
アホッ

はいっ



私のはしたない姿
見られ...たいっ

みえっ...
見えますか?
静さまあ...♡

おまんこも...おつ

感じて
いやらしい顔の私も
見られたいんです...

そう!
もつとつもつとよ

拡がったこうもん...
ズボズボの肛門もお

シッポッ

シッポッ

シッポッ

シッポッ



素敵よ
志摩子さん♡

今のあなた
白薔薇さまにも
お見せしたい
くらい...

いやっ
恥ずかしいっ

でもつてもおつ

シッポッ

シッポッ

シッポッ



見てるわ
志摩子さん

あなたが
はしたなく
いくところを



しずか...
静さまっ
わたし...私っ

シッポッ

シッポッ

シッポッ



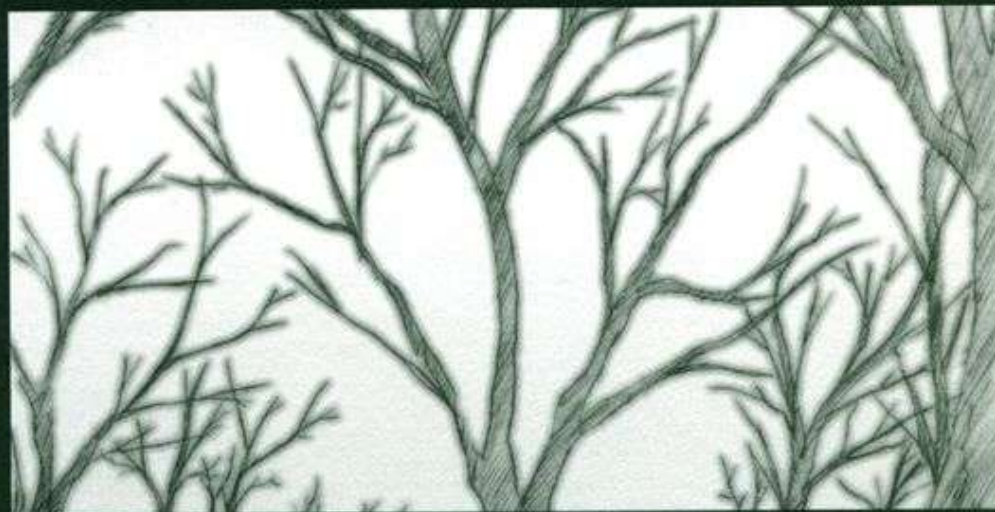
もつとお...もつと
私を見てくださーいっ!

ああっ

んん

んん

んん



白薔薇さまと
すごせる時間も
あとわずかか

悔いの
ないようにな

おわかりに
なりました
でしょう？

わたしは
自ら律しなければ
望むべき方向へと
進むことができず

そう？
私は貴方のこと
より興味が
わいたわ

先ほどのあなたは
普段より人として
確かなものを
感じたし

私には
そんな貴方が
より好ましく
思えるの



静さま……

信仰に生きるのも
あなたなら
あの性癖も
あなた自身なの

あなたの半身を
否定せずに
受け入れたとき……

あなたは
偽りでない本当の
「藤堂志摩子」に
なるのだから……

この身に巢食う
忌まわしくも
激しい肉欲に
溺れてしまう
弱い人間……

この内と外に
矛盾ばかり抱えた
不安定な存在
なんです

こんな私が
次の白薔薇に
なるなんて……

おかし
いすまね

……はい

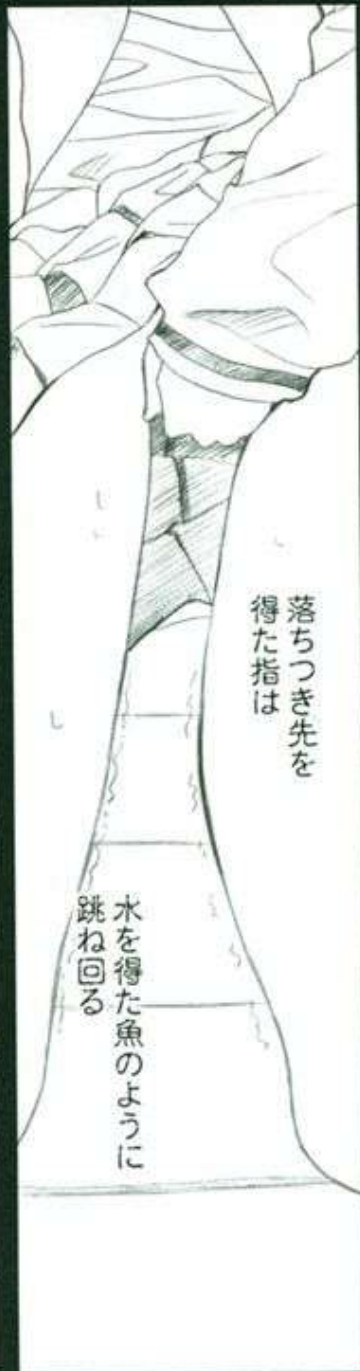


←
ぬすみ聞かして
ついオチにしまつた
祥子さま...とか?



それが判っていてもなお……





志摩子を祥子に
置き換えてみる

気高く美しい
私の最愛の妹…



実際の彼女は
絶対に言わない
だらうけど

空想…いや妄想の
中なら自由だ…



お姉さま…
祥子のここ…こんなに
くちゆくちゆに
なってます…♥

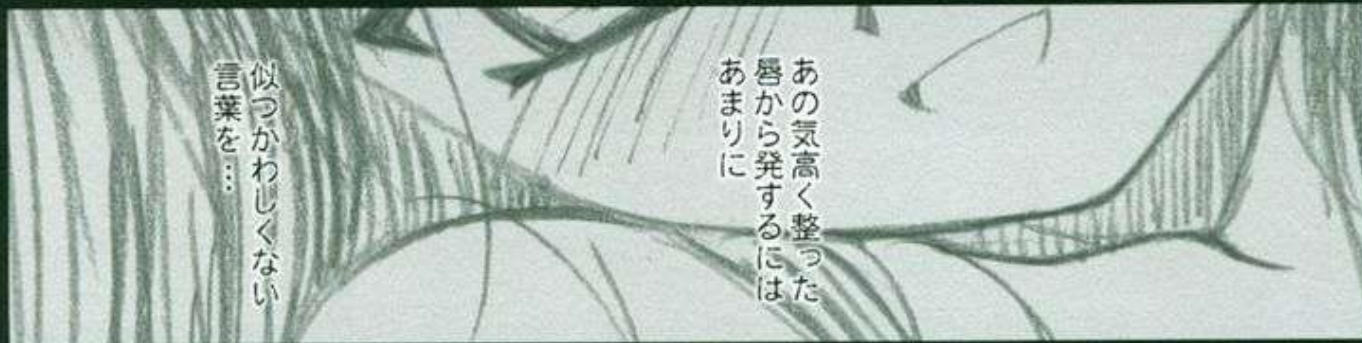
お姉さまに…見られて
いっぱい濡れちゃって…
気持ちよくなってます…う



ですから

祥子の
はしたないおま○こ
守めてくださいあい♡

ああ：
言わせてみたい



あの気高く整った
唇から発するには
あまりに

似つかわしくない
言葉を…



他人の妹である
志摩子ですら
こんなにソクソク
するのだから

可愛いあの子が
言ったらと
思うだけで…

私は……



残っているのは

二人は既に
ここにはいない





それが夢ではなく
現実だったという

激しさの証だけ…



まったく…重いと
あんなはしたくない
妄想にまで
取り付かれて
しまうんだから…

あく自己嫌悪…



そう…

よし！
反省終了！

こういう事があっても
しつかりしなくては
ならない

卒業までは
私は紅薔薇
なのだから…

そして
彼女たちのことも
思い出とともに
ここに置いて…







ここまで読んでいただきありがとうございます。

おそろくちで出すのは最初で最後かと思われる
マリみて本はいかがでしたでしょうか。

今回の話は二年ほど前に思いついたもので、
参考文献は口リ=カニーナからワレンティーンヌス後編にかけてが
ベースになっています。

以前自分の日記にも書いたことがあったんですけど、
自分的にはマリみてで一番える萌えするのは志摩子なんですよ。ね。
隠し事による後ろめたさを彼はいつも抱えていて、
そんな背徳感みたいなものが清楚な外顔とは裏腹に妙な萌えを
醸しだしてるといふか、そこらへんが今回の話を考えた理由というか…。
そんな訳で、乃梨子とくっついちゃった後ではそれも薄れてしまったので
1年生時限定で…ということ、今回の話は、前巻巻末の卒業直前と
いう設定でございます。

そもそもの初期設定は「紅薔薇様、人生最良の日」がヒントになっていますので、
蓉子は狂言回しのポジションで、相手は…これが最後まで噛みまして、
聖にするか静にするか…蟹と聖と志摩子の絡むあたりを何度も読んで
結局は聖ではなくて静にした次第です。聖だと志摩子から鬼の面を
引き出す役で感じてはなかったですし、かといって静と志摩子が
しづってしまうのも何か違う…というわけで、あくまで静はサポート(煽り?)役に
徹してもらおうといった感じで、志摩子のみえる担当になって頂きました。
その分あんましえるくならなかったのはごめんなさい。

とはいえ、リアル志摩子と違ってこの本の志摩子はお下品淫語連発な変態さんって
感じて、こんな志摩子じゃないという方も多いかと思いますが、力不足というか
こっち方面へえるアレンジするしかあたくしには思い浮かびませんでしたorz
それでも、個人的にはスカートたくし上げて眺らう志摩子が描けて満足～(▽▽)
(ちなみに叫喚いそうで叫喚わない露パンツなのは、
志摩子だから「しま」パンツってゆ～しょ～もない理由だった(爆))
あとは、後半がけなかったお話(変態志摩子もの)が少々あるので、
そこだけは何とか形にしたいものです…。

マリみてで一番お気に入りの様子に関しては…さすがにリアルにあんなことは
しないだろうということで、ああいう形で出してはみたものの、
やっぱり個人的にはあまりえる萌えしないキャラなのでじっくり来ませぬねえ(▽)
まあ、あの程度が精一杯ということで…。

今回はクレゾで今回出せなかったFATE本を出す予定です…が、
その前にコミケットスヘサルに参加予定です。
こちらでは、普段やらないことをということで、
VISTAさんと合同でアニメ系のえろ～んな本を予定しています。
ネタは未定ですが、まあ…今の気分だとローゼンが舞HIMEでしょうかねえ。
見かけましたらどうぞよろしくですm(_ _)m

最後に、毎回手伝ってくれるいつものメンバーと、
今回自分の入稿後に手伝ってくれたオダワラハコネさまに感謝。
そして、相変わらず迷惑かけっぱなしの印刷所さま、ごめんなさいm(_ _;)m

それでは、よいお年を。
個人的には今年後半はあまりいいことがなかったんで、
来年はいい年だったら……いいなあ。



HOUSES OF THE HOLY

2004.12.30 初版発行

発行

ディエップ工房

URL

<http://www.dieppefactory.com/>

MAIL

alpine@dieppefactory.com

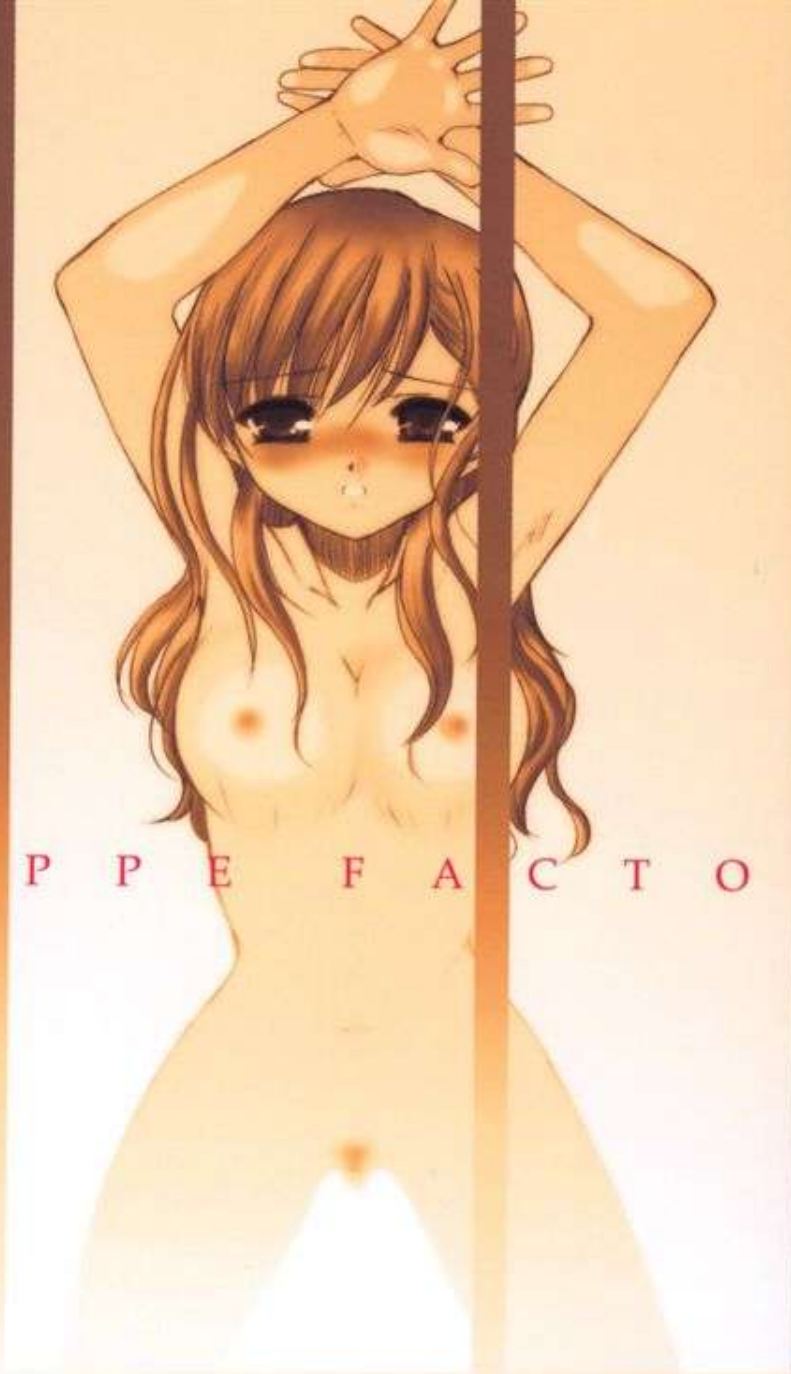
印刷

パワープリント様

SPECIAL THANKS

H=Itoh. IKUO. ODAWARA HAKONE.

Web等への無断掲載はこれを禁止します。



D I E P P E F A C T O R Y

2004.WINTER